



2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ピアズ

コード番号 7066 URL <https://peers.jp/>

代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 桑野 隆司

問合せ先責任者 （役職名） 取締役 管理部部長 （氏名） 栗田 智代 TEL 03-6811-2211

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有

（百万円未満切捨て）

1. 2026年9月期第3四半期の連結業績（2025年10月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第3四半期	5,498	22.1	617	12.8	396	△0.0	465	28.8	258	△18.9
2025年9月期第3四半期	4,503	△0.2	547	14.7	396	2.0	361	△10.0	319	5.9

（注）包括利益 2026年9月期第3四半期 259百万円（△18.6%） 2025年9月期第3四半期 319百万円（5.9%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	28.54	27.84
2025年9月期第3四半期	34.52	32.93

（注）EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれんの償却額

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第3四半期	4,268	2,827	66.2
2025年9月期	4,456	2,759	61.9

（参考）自己資本 2026年9月期第3四半期 2,815百万円 2025年9月期 2,757百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2026年9月期	—	0.00	—		
2026年9月期（予想）				—	—

（注1）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

（注2）2026年9月期の配当予想につきましては、現時点で未定としております。

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	7,800	27.8	700	△8.7	445	△20.3	425	△16.7	270	△33.3

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 2社 (社名) AIOパートナーズ株式会社、株式会社フォークウェル

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年9月期3Q	10,185,600株	2025年9月期	10,025,600株
② 期末自己株式数	2026年9月期3Q	1,181,157株	2025年9月期	1,002,957株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年9月期3Q	9,066,527株	2025年9月期3Q	10,012,845株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(四半期連結損益計算書)	5
(四半期連結包括利益計算書)	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や設備投資が底堅く推移するなど、景気は緩やかな回復基調を維持いたしました。一方で、各国の通商政策や地政学的リスクを背景とした世界経済の不確実性に加え、物価上昇の継続などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、「いつかの未来を、いつもの日々に～New Normal Acceleration～」をパーパスに掲げ、既存事業の基盤強化とともに、新たな事業領域への投資を通じて持続的な成長に向けた事業ポートフォリオの最適化に取り組んでまいりました。当第3四半期では、既存事業が安定的に推移したことに加え、オンラインセールス事業の拡大やM&Aを通じて参画したグループ会社の収益寄与により、売上高は第3四半期累計で過去最高となりました。

一方、利益面においては、M&Aに伴うのれん償却費等の増加により営業利益は前年同期並みで推移したものの、PMIの進展によるグループシナジーの創出や全社的なコストコントロールの継続により、EBITDA及び経常利益は前年同期を上回る結果となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、繰越欠損金の解消に伴う法人税等の増加により前年同期では減少しておりますが、税金等調整前四半期純利益は前年同期を上回って推移しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高5,498百万円（前年同期比22.1%増）、営業利益396百万円（前年同期比0.0%減）、経常利益465百万円（前年同期比28.8%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は258百万円（前年同期比18.9%減）となりました。

なお、当社グループはコンサルティング事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント別の記載を省略しております。

（2）財政状態に関する説明

（流動資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は2,562百万円となり、前連結会計年度末に比べ259百万円減少いたしました。これは、主に売掛金が68百万円増加したものの、現金及び預金が308百万円減少したことによるものであります。

（固定資産）

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は1,706百万円となり、前連結会計年度末に比べ71百万円増加いたしました。これは、主に繰延税金資産が68百万円、投資有価証券が33百万円、顧客関連資産が31百万円、ソフトウェアが21百万円減少したものの、のれんが165百万円、保険積立金が94百万円増加したことによるものであります。

（流動負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,176百万円となり、前連結会計年度末に比べ104百万円減少いたしました。これは、主に未払法人税等が74百万円増加したものの、1年以内返済予定の長期借入金が167百万円減少したことによるものであります。

（固定負債）

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は264百万円となり、前連結会計年度末に比べ151百万円減少いたしました。これは、主に長期借入金が150百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,827百万円となり、前連結会計年度末に比べ68百万円増加いたしました。これは、主に利益剰余金が114百万円増加した一方、自己株式が99百万円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年9月期の業績予想につきましては、2026年5月14日公表の業績予想に修正はありません。

なお、当該業績予想につきましては、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,763,206	1,454,569
売掛金	922,290	990,472
契約資産	5,433	2,536
仕掛品	400	-
その他	142,106	115,202
貸倒引当金	△12,000	△400
流動資産合計	2,821,437	2,562,380
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	66,053	61,887
車両運搬具（純額）	7,421	5,568
工具、器具及び備品（純額）	6,865	12,648
リース資産（純額）	13,800	11,367
有形固定資産合計	94,141	91,471
無形固定資産		
ソフトウェア	87,007	65,601
のれん	668,601	834,425
顧客関連資産	224,666	192,885
その他	0	0
無形固定資産合計	980,275	1,092,913
投資その他の資産		
投資有価証券	338,911	305,074
長期貸付金	139,551	144,442
繰延税金資産	70,840	1,845
敷金	48,021	61,829
保険積立金	48,484	142,707
その他	54,807	17,963
貸倒引当金	△140,178	△152,178
投資その他の資産合計	560,437	521,683
固定資産合計	1,634,854	1,706,067
資産合計	4,456,291	4,268,448

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	332,103	319,484
1年内返済予定の長期借入金	367,216	200,016
未払金	63,165	93,208
未払費用	167,693	204,893
預り金	9,806	14,450
リース債務	3,501	3,572
未払法人税等	21,276	95,582
契約負債	167,682	185,646
その他	149,188	59,924
流動負債合計	1,281,634	1,176,777
固定負債		
長期借入金	399,952	249,940
リース債務	12,276	9,587
繰延税金負債	-	2,572
その他	3,421	2,428
固定負債合計	415,650	264,529
負債合計	1,697,284	1,441,306
純資産の部		
株主資本		
資本金	78,633	100,258
資本剰余金	996,845	1,018,470
利益剰余金	2,261,475	2,375,919
自己株式	△579,110	△679,069
株主資本合計	2,757,845	2,815,579
新株予約権	1,162	1,032
非支配株主持分	-	10,529
純資産合計	2,759,007	2,827,141
負債純資産合計	4,456,291	4,268,448

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年10月1日 至 2026年6月30日）
売上高	4,503,834	5,498,475
売上原価	3,195,089	3,897,110
売上総利益	1,308,745	1,601,365
販売費及び一般管理費	911,988	1,204,746
営業利益	396,756	396,618
営業外収益		
受取利息	2,648	3,560
受取配当金	8,282	-
投資有価証券売却益	-	48,933
投資事業組合運用益	-	18,834
為替差益	-	6,215
その他	566	935
営業外収益合計	11,497	78,480
営業外費用		
支払利息	11,971	9,967
投資事業組合運用損	13,124	-
投資有価証券評価損	19,987	-
その他	1,983	-
営業外費用合計	47,067	9,967
経常利益	361,187	465,131
特別利益		
事業譲渡益	27,496	-
特別利益合計	27,496	-
特別損失		
固定資産除却損	95	648
減損損失	16,439	-
特別損失合計	16,534	648
税金等調整前四半期純利益	372,149	464,483
法人税、住民税及び事業税	3,837	133,079
法人税等調整額	49,299	71,567
法人税等合計	53,136	204,647
四半期純利益	319,012	259,835
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	1,029
親会社株主に帰属する四半期純利益	319,012	258,806

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年10月1日 至 2026年6月30日）
四半期純利益	319,012	259,835
四半期包括利益	319,012	259,835
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	319,012	258,806
非支配株主に係る四半期包括利益	-	1,029

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間において、AIOパートナーズ株式会社を新規設立したことに伴い、連結の範囲に含めております。

また、第2四半期連結会計期間において、株式会社Groovesが新設した株式会社フォークウェルの株式を取得し、同社を子会社としたことにより、連結の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2026年3月19日開催の取締役会決議に基づき、自己株式取得に係る事項を決議し、取得株式数250,000株、総額100,000千円を上限として2026年3月23日から2026年9月30日の期間で自己株式の取得を進めておりました。これにより、当第3四半期連結会計期間において自己株式139,900株を取得し、自己株式が81,755千円増加いたしました。この結果、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が679,069千円となっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	66,976千円	64,363千円
のれん償却額	83,510千円	156,429千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループはコンサルティング事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント情報に係る記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(連結子会社間の吸収合併及び特定子会社の異動並びに子会社の商号の変更)

当社は、2026年8月14日開催の取締役会において、2026年10月1日を効力発生日として、当社の連結子会社である株式会社Qualiagram（以下、「Qualiagram」という）と当社の連結子会社である2Links株式会社（以下、「2Links」という）との合併（以下、「本合併」という）を決議いたしました。

なお、本合併により特定子会社である2Linksは消滅し、当社の特定子会社に該当しないことになります。

また、存続会社であるQualiagramは、同日付で、商号を「株式会社NAJIM works」に変更することについて決議いたしました。

1. 合併の目的

当社グループは、「NEW NORMAL ACCELERATION」をパーパスに掲げ、営業・顧客接点領域におけるDX支援及び現場に根ざした生成AIの活用を通じて、あらゆる産業のコミュニケーションの最適化を目指しております。

近年、生成AI、AIアバター、音声対話、デジタルコンテンツ、オンラインコミュニティ等の技術・サービスは急速に進化する一方、デジタルに不慣れな生活者や、導入・運用ノウハウを有しない企業・自治体では、十分に活用されていないという課題があります。また、新たな技術を導入するだけでなく、利用者の理解、利用開始、定着及び継続利用までを含めて、現場で活用され続けるサービスとして実装することが求められております。

このような環境のもと、当社グループは、生成AIを活用したシステム開発、AIオペレーター、AIアバター接客UI等に関するAI実装・対話設計力を有するQualiagramと、当社グループが有する生活者向けサービスの企画・運営力、デジタルコンテンツの収益基盤及び利用促進・継続運営のノウハウを統合し、新しい体験を企画、開発、提供及び運営まで一気通貫で事業化する体制を構築することを目的として、本合併を行うことといたしました。

2. 合併の要旨

(1) 合併の日程

取締役会決議日 2026年8月14日
 合併契約締結日 2026年8月14日
 合併効力発生日 2026年10月1日（予定）

（2）合併の方式

Qualiagramを存続会社、2Linksを消滅会社とする吸収合併です。

（3）合併に係る割当ての内容

本合併は当社の完全子会社同士の合併であるため、本合併による株式及び金銭等の割当てはありません。

（4）合併に伴う新株予約権及び新株予約権社債に関する取扱い

該当事項はありません。

3．合併当事会社の概要

	吸収合併存続会社	吸収合併消滅会社
（1）名称	株式会社Qualiagram	2Links株式会社
（2）所在地	東京都港区港南2丁目16-4	東京都港区港南2丁目16-4
（3）代表者の役職・氏名	代表取締役 吉井 雅己	代表取締役 桑野 隆司
（4）事業内容	システム開発、コンサルティング事業	貸事務所業、コンサルティング事業
（5）資本金 （2026年6月30日現在）	5百万円	5百万円
（6）設立年月日	2020年11月12日	2020年5月19日
（7）発行済株式数 （2026年6月30日現在）	1,000株	1,000株
（8）決算期	9月30日	9月30日
（9）大株主及び持株比率 （2026年6月30日現在）	株式会社ピアズ：100%	株式会社ピアズ：100%

4．合併後の状況

本合併により、存続会社は消滅会社の事業を継承いたします。存続会社の所在地、代表者、資本金及び決算期の変更はありません。なお、存続会社は合併成立日に商号を株式会社NAJIM worksに変更する予定です。

5．実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号2019年1月16日）に基づき、共通支配下の取引として処理する予定であります。